



詳細はコチラをクリックし、ご希望の車種を選択してください



**ナビ以外にも色々取り付ける。  
それに応えられるナビゲーションステー。  
そこには、元祖ならではの  
こだわりがいっぱい。**

特徴的な形状は、純正ナビホルダーを外すことなく、大量にアクセサリを搭載する為の工夫。



BMWのバイク専用に、ナビゲーションステーを作ったのは、実はR-styleが元祖。K1600GTL用に作ったものが爆発的にヒットして、それからは定番になりました。元祖だから、譲れないこだわりがある。

**【こだわりその 1 やっぱナビは手前に付けたい!!】**

ご存知BMWのオートバイには、元々純正ナビが取付できるものが多い。しかし純正ナビは、その取付位置が遠く、字が見えづらかったり、太陽光が反射して地図自体見えなかったり。近くだとタッチパネル操作しやすいし、第一地図が見やすい。ナビ以外に付けるドリンクホルダーやスマホホルダー、ドラレコだって、近くに越したことはない!!

**【こだわりその 2 やっぱナビは真ん中に付けたい!!】**

色んな汎用品の様に、ナビが右か左側にずれて、しかもまっすぐ付いてないと、見てて疲れる。ビーマーはロングツーリングする人も多い。疲れは禁物。

**【こだわりその 3 ナビ以外にもたくさん付けたい!!】**

R-styleのナビステーは、ナビ以外にも工夫次第で出来るだけたくさん付けられるようになっている。だから使い勝手が良いのです。

**【こだわりその 4 メインキーとメーターの邪魔はしない!!】**

これは当たり前だけど、開発する時はいつも苦勞します。絶妙な位置を見つけるのは大変ですが、そこは妥協しません。

**【こだわりその 5 頑丈な取付け方法!!】**

R-styleのナビステーは、絶対に2本以上のボルトで、力学的にも緩みにくい方法で取付けできるようになっています。ハンドル取付けボルト部に付けることが多いナビステー。1本だけで留める方法だと、走行中どうしても緩む可能性がある。汎用品はボルト1本が多いけど、走ってる最中にミラーやハンドルが外れると、それはそれは恐ろしい事に。

**【こだわりその 6 ステンレスの、ポリッシュ仕上げ!!】**

一部車種を除き、錆びにくいステンレスの、職人によるポリッシュ仕上げにしているのは、やっぱり走行中一番目に付くところだから。錆びは禁物。スチールのもも、防錆処理してから焼き付け塗装しています。



手元に大画面ナビを取り付け出来、視認性が大幅に良くなります。タッチパネル操作も快適にこなせます。



### お客様取り付け例

ナビ以外にも、ドライブレコーダーや無線機などが簡単に取り付け出来るようになります。ラウンド状に機器を搭載出来るので、視認性も高く、まさにコックピットの様に!

### 車種別ラインナップ

- BMW S1000XR
- BMW R1200RS LC
- BMW R1200RT LC
- BMW R1200GS LC (ADD)
- BMW K1600GT GTL GTLエクスクルーシブ
- BMW R1100S
- BMW K1300GT
- BMW K1200RS (1997~2005)
- BMW K1200RT (2002~2005)
- BMW R1200RT AC DOHC (2010~2013)
- BMW R1200RT AC OHC (2005~2009)